

防災気象講演会：「蔵王山の火山活動と防災体制」の開催

気象庁仙台管区气象台・宮城県・蔵王町主催、山形大学後援で、一般市民及び防災関係者の防災意識の意識高揚と防災知識の普及・啓発を目的に、防災気象講演会を開催します。

東北地方太平洋沖地震のような巨大地震の後には、その付近の火山活動が活発化すると言われており、東北地方のいくつかの火山でも活動が活発化していることが観測されています。蔵王山でも、火山性微動（マグマや熱水の動きに関連して発生する震動）が時々観測されるなど、活動の高まりが認められています。このため、最新の火山活動の状況や監視体制、想定される災害などを学び、今後の火山周辺の防災対策や火山からの恵みを利用した共生について、関係者による討論を通じて、来場者にも主体的に考えていただきます。

事前申込は不要。

◆日 時：11月8日（土）13：00～15：20

◆場 所：蔵王町ふるさと文化会館 ございんホール（宮城県刈田郡蔵王町大字円田字西浦5）

（本学のお問合せ先） 理学部 教授 伴 雅雄 電話 023-628-4642